

## 研究評価制度がスタート

Key word ; 研究評価

---

本年度より徳島県農林水産関係試験研究評価が実施されます。試験研究を農業、果樹、畜産、林業および水産業の5部門に分け、評価委員は15人以内と決められています。高知大学海洋生物教育センターの大野正夫教授、牟岐東漁協井元健二組合長および郷土料理研究家の浜本通恵氏が水産部門の委員に就任されました。委員の任期は3年です。

水産試験場では、アマモとアラメの海藻(草)群落の回復手段やアオノリの養殖技術について、担当研究員がこれまでの成果、研究開発の現状やこれからの課題について発表し、委員に評価していただきました。

評価結果は報告書として農林水産部長に提出され、私たちは部長から試験研究の改善措置の指示を受けます。この制度の活用により、私たち研究員一人ひとりの能力が高まり、かつ徳島県の多くの人々に試験・研究についてご理解いただけることを願っています。